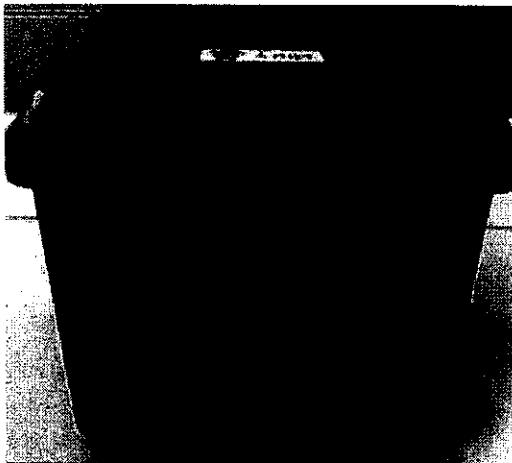


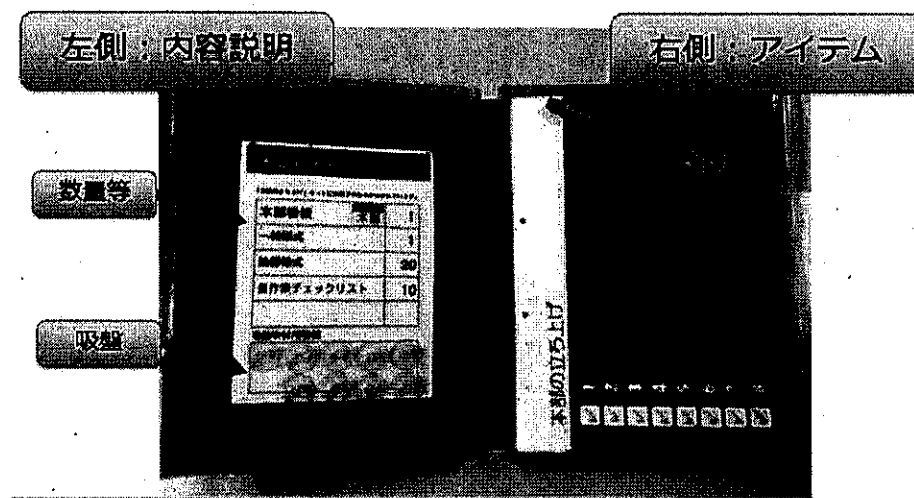
事業計画書

事業名	避難所開設キット作成、普及及び啓発事業
枠の種類	ネーミング事業（埼玉織物工業協同組合 災害救援・防災支援事業）
1. 事業の目的	<p>近年災害が多発しています。避難所の開設頻度も増加傾向にあります。</p> <p>そこで、当会では、避難所を開設するにあたって、標準的な資機材・掲示物を事前にキットとして用意し、各避難所に用意しその活用方法まで 啓発を進めていきます。</p>
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>避難所を開設するにあたって準備状況によって、避難者の生活（ＱＯＬ）に大差が生じております。当会では、避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）等で啓発活動を実践していますが、多くの関係者への更なる啓発活動を進める必要があり、より実用的な避難所開設キットを用意します。</p> <p>また、新たに感染症予防対策も含くめた対応が重要な要素となっています。</p>
3. 具体的な事業内容	<p>（１）避難所開設キット作成と運用方法説明の DVD 作成</p> <p>避難所開設キットを見本として５セット作成します。</p> <p>避難所開設キットとは、発災時にだれでも、簡単に、避難所を開設運用できるよう事前に、手順書・チェックシート・掲示物・事務用品をステップ毎にＢＯＸ（ファイルケース）に入れて、順番に進めていくものです。併せて、運用方法をわかりやすく説明するＤＶＤも作成します。</p> <p>○ 外観（例）</p> 

The image shows a document page with a high-contrast, black and white appearance. The page is heavily degraded with horizontal streaks and noise. The text is mostly illegible due to the quality of the scan. The layout appears to have multiple columns and rows, with some text visible in the center and right sections.

- 本部の立ち上げ
施設の安全管理
避難者の受入れ
トイレを準備
傷病者の対応
情報収集・伝達
備蓄物資の活用
その他の対応

- ・上から順番にケースを開けて、手順書チェックシートに沿って作業・点検を進めます。(マニュアルを熟読しなくてもOKです)



- ・手順／チェックシート／マーカが入っています。
 - ・「立入禁止」等の掲示物は事前に必要数を印刷ラミネート加工して取付用吸盤も用意します
 - ・受付記入用紙も事前に必要数を印刷します。
- (発災時に停電でコピー機使用不能を想定して事前に用意します)
- ・更に、今後は新型コロナウイルス対策にも対応したマニュアルも追加します。

(2) 避難所立ち上げ方法の DVD を活用しながら、地域関係者への啓発活動を実施する。

- ・現在、三郷市役所での活動は決定している。
- ・その他の県内市町村の防災担当部署、自治会、自主防災組織を対象に実施していく。

4. 具体的な事業の実施計画	○事業のスケジュール		
	月	事業計画	広報計画
	7		
	8		
	9	避難所開設キットの準備	ホームページにてPR開始
	10	避難所開設キット作成 DVD作成	チラシ作成（500枚） 県内行政に直接PRする
	11		
	12	避難所開設キットの運用訓練実施	のぼり旗作成（10枚）
	1	〃	
	2	〃	
	○広報計画について 当会のホームページにて、PRする。 今後作成するパンフレットを活用して、県危機管理部署・市町村の危機管理担当部署へ直接PRする。		
5. 個々の事業の実施により達成したい成果の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none">・発災時に速やかに避難所を立ち上げる（行政に頼らず住民主体で）・避難者の避難生活のQOL向上を図ることができる。・開設時のアンケート調査の実施、また、啓発活動中の参加者の声を集計することにより、さらなる向上を目指すことができる。 <p>住民は避難所にて“お客様”となりがちであり、諸問題が発生する傾向があります。</p> <p>一方で、住民が主体となって運営する避難所では、住民の声が反映され、また行政はその後の復旧作業・被災証明書発行等に行政にしかできない業務に集中できるなど、両者の差は歴然としてきます。</p>		
6. 事業の実施体制	○事業の実施について ①総括責任者 理事長 木松 賢治 ②連絡責任者 事務局長 岡崎 洋志 ③現場責任者 理事 鈴木 一郎 ④経理担当者 理事 西田 怜 ⑤広報担当者 理事 鈴木 一郎		
7. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか	<ul style="list-style-type: none">・DVDを活用した啓発活動の継続・避難所の状況、説明会での意見等を反映させて更に良いものに、カスタマイズを実施して行きます。		

8. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること

- ・当会は任意団体として、10年間の活動実績があり、その構成員も、消防署、自衛隊、行政、教育関係者の現役／OBが多数在籍しております。
- ・会員も県内各地に在籍しており、活動範囲も埼玉県内各地が対象です。
- ・更に、上部団体として、特定非営利活動法人日本防災士会の埼玉県支部の機能も有しており、毎月研修会を開催し自己研鑽に努めています。